

令和8年度第3回新城市福祉従事者支援施策推進会議会議録（要約）

日 時 令和8年9月29日（火）
午後1時30分～

場 所 新城市役所3階災害対策本部室3

議題 令和8年度福祉従事者支援施策について

- 1 市内小・中学校で実施されている「福祉に触れる機会」の充実
8/26 関係委員と事務局による打合せについて、参考資料のとおり事務局より報告を行う。

【委員による意見】

- ・「福祉に触れる機会」という名称への違和感（福祉の範囲や当事者理解のあり方に関する懸念）。ただし、県補助等の関係で「福祉実践教室」の名称は維持する必要がある可能性あり。
- ・学校側の時間的制約や教員負担が大きく、導入しやすさ（時間・負担の配慮）が重要。
- ・体験が単発で終わらないよう、学びを活かす連携が望ましい。
- ・委員・現場職員の視点（専門的助言）を視察等で取り入れてほしい。

【決定事項・今後の対応】

- ・事務局・社協・委員で年度内にパッケージ案を作成する（9年度採用見込み）。
- ・視察は10月から実施。委員および法人職員等による専門意見をウェブアンケートで回収する。
- ・教職員向け研修を職位別に実施する想定で社協が周知担当。
- ・ネーミングの議論は留保しつつ、実施内容・パッケージ化を優先して進める。

- 2 第5回ふくしふれあい広場で「福祉・介護職員からの実践発表」の実施
第1回 メガホンリレー事業～実践発表～募集要項（案）について、参考資料のとおり事務局より報告を行う。

【委員による意見】

- ・募集要項の「誰に」「何を期待するか」を見出し等でわかりやすく整理すべき。
- ・応募主体に営利目的（営業利用）を目的とする団体が含まれる場合の扱い（線引き・リスク管理）について懸念。応募段階での確認・規定化が必要。

【決定事項・今後の対応】

- ・応募書類の公表用チラシ等を分かりやすく修正する（見出し追加）。
- ・応募主体に営利目的（営業利用）を含まないように明確化するように修正する。

- 3 第5回ふくしふれあい広場で「キラリ☆しんしろ福祉賞」の実施
第4回 キラリしんしろ☆福祉賞表彰募集要項（案）について、参考資料のとおり事務局より報告を行う。

【決定事項・今後の対応】

- ・応募書類の公表用チラシ等を分かりやすく修正する（見出し追加）。

4 新城キャリア教育プログラムー福祉・介護版ーの実施

参考資料のとおり、事務局による報告を行う。

活動報告の機会は 9 年 3 月 22 日のふれあい広場内での紹介を予定。

□未解決の論点・留意事項

- ・「福祉に触れる機会」という名称に対する違和感の整理（当面は社協名義の「福祉実践教室」を踏襲しつつ、内部でネーミング検討を継続）。

要項については以下 2 点については早急に対応して各委員へ事務局から最終案を提示する。
その後、報道機関への投げ込み、HP の掲載を早急に進める。

- ・メガホンリレー応募者の営利利用（営業目的）の線引きと判断基準の明確化。応募段階での確認項目・審査基準に反映する必要あり。

- ・応募書類の公表用チラシ等を分かりやすく修正する（見出し追加）。